

# 社友会だより

## 第 36 号

発行 センツウ社友会  
住所 神奈川県川崎市麻生区上麻生 2-35-16  
〒215-0021 平野昌明 内  
編集者 大場省平

### \* 新年のご挨拶 \*

社友会会長 法安忠美

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。



去年は、多極化が進む世界情勢の中、主要国での首脳交代が相次ぎましたが、我が国においても総選挙の結果、政権政党が交替し、安部危機突破内閣が発足しました。その看板通り、直

面する国力衰退の諸要因を除去し、一日も早く、現在の閉塞状況を打開して貰いたいものです。

さて、我が社友会の事業運営の現状であります。包括的には、可もなく不可もなく、緩やかに推移していると申し上げて良いのではないかと存じます。

支部組織の運営も軌道に乗りつつあり、本部との連携も構築が進みつつあります。

私ども卒業生にとって大事な事業であります「同窓の集い」も、昨年 4 回目となりましたが、認識が深まりつつあり、各地域での挙行も盛大となっております。

経費の面では、例えば、会報の作成手段を改める一方、ホームページでご覧いただく方を増やすことによる通信費等の削減に繋がる工夫などしております。

このホームページも更に充実してきておりますので、是非ご覧下さい。加えて、フォトギャラリーも入れ替えを含めた試行を行っております。情報ツールとして、さきの会報と併せ目を通して下さい。

この際、重ねてお願いします。

記事、写真、絵画、詩歌等、ジャンルを問わず気軽にご投稿下さい。会員相互のコミュニケーションを図る最適の場でもあります。

会員増強も停滞気味であり、構成も逐年高齢化してきております。若い方の入会が少ないからです。現役の皆さんの諸事情もわからないではありませんが、私どもの勧誘努力不足も否めません。皆さんのご協力を切にお願い致します。

会員が全国に分散している特殊な事情が齎す諸問題の存在があります。一体感や連帯感に支障が生じ、任意団体であり、全国区である当会の運営の難しさに輪をかける虞れがあります。皆さんで知恵を出し合って解決するの他はありません。ご意見をお待ちしております。

社友会創設 25 周年となりました。記念事業の一環と

して、記念誌を編纂しております。本年春暖の頃にはお手許に届くことと存じます。

最強の役員スタッフも頑張っております。会員の皆様の温かいご声援を、そして、本会運営に対するご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

終わりになりましたが、皆様にとりまして今年も佳い年でありますよう、お祈り申し上げます。

### 第 4 回ゼンツウ同窓の集い 各地域で盛大に開催

「ゼンツウ同窓の集い」今年も 5 地区で開催され、全体で 130 人が集う、大イベントと成りました。

これも、「ゼンツウ創立記念日を忘れない」との思いが募ってきているものと思います。

それでは、各地区での開催模様を紹介します。

#### 中央地区

平成 24 年 12 月 1 日(土) 12:00 から東京都港区海岸のシーサイドホテル(芝弥生会館)に於いて「第 4 回ゼンツウの集い」が開催された。

当日は、寒い中ではありましたが、55 名の方々が参加され、ホテルの二階ロビーには、開催前に多くの方が集まり、再会を喜んでいた。

開会前に、参加者全員による記念写真の撮影を行い、カメラマンは今年も林 稔さんが担当された。

人数が多い事もあり、整列には相当時間が掛かりましたが、無事終了した。

司会進行は、中野博幸さんと本山健勝さんの両名にて行われた。



司会者中野さんから、「ゼンツウが幕を閉じてから 4 年が経過しています。存続をしておれば、本日が第 60 回の創立記念日になり、皆様も美味しいお酒を召し上がった

と思います。本日も時間の許す限り、楽しく語らって頂きたい」と挨拶された。

続いて開宴に先立ち、ご挨拶と乾杯の音頭を、本日ご出席の大先輩であ



ります野村康雄様にお願いした。

野村さんが壇上に上がり、「皆様お久しぶりでございます。ついこの間まで、暑い暑いと云っていたのですが、急に寒くなり、セーターを着込んだり、ストーブを出す等、あくせくしております。

センツウのOB会には極力出るようにしていますが、7月の総会は風邪で欠席、10月の懇親会は、日程が合いませんので、欠席させていただきました。皆様とお会いできるのは10ヶ月振りです。皆様のお元気なお顔お拝見し心強く思っております。でも、一緒に仕事をした覚えのない方が大分増えたように思います。会社を辞めてから24年ですので、無理もないですね。

それでは、乾杯の音頭をとらせて頂きます。」ご唱和をお願いします。杯を挙げて「乾杯」一同、拍手。

司会者からの、「それでは皆さん美味しい料理と、お酒を心いくまで味わって下さい。」で開催。

暫らく懇談が続くと同時に、会場内に設置された大型のスクリーンに、センツウの思い出の映像が映し出され、グラスを片手に見入っていた。特に、横浜支店の閉鎖祝典の様子がビデオで流され、懐かしい方々が映し出される度に歓声が上がり、司会者から映像のコメントがされる等、会も一段と盛り上がった。

続いて、ドコモ・モバイルの衛星サービス事業本部長の田中正徳様にご出席頂いておりましたので、ご挨拶をお願いした。

「皆さん、本日は創立60周年になるとお聞きし誠にありがとうございます。

ドコモ・モバイルの衛星事業本部長の田中様でございます。センツウ出身ではありませんが、衛星船舶電話を預かる立場として皆様にご挨拶とお願いをしたいと思って参りました。

私は、30年ぐらい前になりますが、函館の統制無線中継所に勤務していた時、内航船舶電話の基地局に雷が落ちて燃えてしまう事件がありました。その時から

船の通信に係わらせて頂いており、当時センツウの皆さんにお会いしましたが、大変良い方ばかりでした。

現在私は、衛星船舶電話の主幹分門として、「ワイドスター」から「ワイドスター2」に移行するために国際赤坂ビルに居る人及び全国のセンターに居る人がお客様に出向き、取り替えをお願いをしているところですが、「衛星の機器を又買い替えるのか」と云われ、進捗が遅れこのままでは、1年半後の期限に間に合わないのではと危惧しております。

つきましては、今日お集まりの先輩方に、現場にて頑張っている方々に、是非激励して頂きたいと思っております。1年半後には、新方式に移行して頂き、次の世代に船舶通信の技術と伝統を継承できますよう、皆様方のご支援と応援を頂きたい、どうかよろしくお願ひ致します。」

暫らく歓談が続いた後、社友会の法安会長にご挨拶をお願いした。

「今日は寒いので、少し落後者がいたようですが、また、来年は大勢来て欲しいですね。

このような会のネーミング素晴らしいですね。私も社友会の方と、こういう若い人達の発案によるこのような催しをお伝えできることを、大変嬉しく思っています。若い人がもっと社友会にも入って頂きたいとも思っています。

師走でございますから、来年も佳い年になりますよう皆様のご健勝とご多幸を節にお祈りします。」

引き続き、中締めは、本日紅一点の川端さんをお願いした。

「昨年引き続きこのような大役を仰せつかり、恐縮しております。

私も、ドコモ・モバイル衛星営業部でワイドスターの切替えに携わらせて頂いております。

船舶電話がより変わった形で進んで行くと思っておりますが、今までの歴史をそのまま引きずって行かれる船舶電話をこれからも携わって行きたいと思っております。又、来年のこの時期に皆様方とお目に搔かれますようお祈りし、一本締めで締めさせていただきます。」





二時間もあっという間に過ぎ、無事お開きとなりました。



{レポート 松原繁弘さん}

### 中部地区

平成 24 年 12 月 1 日 12:30～、名古屋港の「むらさき」15 名が出席して開催しました。



初冬とはいえ比較的暖かい日に恵まれ、何年振りでしょうか懐かしの名古屋港での開催で心ウキウキ。

支部長の挨拶後、奥田事務局長から 6

月の和倉温泉旅行、会計期間の変更、社友会 25 周年誌の発行準備が進められていること、また、来年 3 月下旬ごろに支部総会を兼ねてイベントを考えていることを説明された。



佐藤さんの乾杯の音頭で懇親会がはじまり、



時間が経つに従いあっちでワァー、こちらでワァー、年金の話、それとも税金のいや選挙のはなしかな？、歓談の声も大きくなり会も盛り上がり親交を深めました。

時間の経つのが早いもので、あっという間にお開きとなり、元気で再会を



約し散会しました。 [レポート 本田太作さん]

### 関西地区

平成 24 年 12 月 1 日 13:00～神戸三宮の老房 (L A O FANG) にて開催、20 名の皆さんに参加を頂きました。



昨年度は、現在西日本方面に居住され、関西地区で勤務された方々に案内を致しましたが、本年度は関西圏

の方々に絞って案内をお送りいたしました。

開宴と同時に会は盛り上がり、話題は途切れることが無い 2 時間でした。



[レポート 富田 昌さん]

### 九州地区

センツウ同窓の集いは、九州では 5 回目を迎えるが、過去 4 回はセンツウの面影残る哀愁の旧センツウビル、MARYY GOLD で開催した。会場は結婚式・披露宴会場に 改装されており土日祝日は結婚式等が優先され、平日 (金曜日) 開催と」なっていた。平日の場合は、出席者の中に現役の方も相当数おり、福岡等



遠方より出席する場合は宴会に間に合わない等アンケートでも土曜日開催を求める意見も有った。そのような要望に応える為に、今回は、センツウビル



近傍で、かつては送別会や飲み会で頻繁に利用していた思い出の会場「割烹 まんねん亀」にて土曜日

(18:30分開宴)に開催、実施した。

当日は、33名の多くの方が出席して頂いた。

出席者は同窓の集いであるから、

定年退職組に加え、途中で転職した人、転社した人、広島、高松、丸亀、佐伯、福岡、鹿児島の各方面からご出席いただいた。

何年振りや、何十年振りの人もおり、髪が薄い人、白くなった人等も多くいたが、会が始まるや元気な人ばかりで往年のエネルギーを感じる勢いでみるみる鯛の刺身やフグ刺し、フグ鍋をたいらげ、日本酒、フグ酒、焼酎も次々にお腹の中に注ぎ込み、勢いあまったか、我を忘れたか、昔の宴会の隠し芸におよび、女性の目のやり場がなくなってしまう一幕もあり大盛況であった。

記念の集まりに全員の記念撮影及び、各事業所毎の勤務経験者だけが集まり記念撮影をして、旧交を温めた。また最後には、来年の再会を祈念してセンツウ万歳を三唱して締めくくってお開きとなった。



[レポート 松崎繁行さん]

## 東北地区

平成24年11月30日(金)18:00~仙台市内の割烹「牡鹿半島」にて開催した。

当日は、旅行等の計画と重なり、伊藤さん、高橋新之助さん、川村さん、木村さんが残念ながら不参加となり出席者7名となりましたが、今年も岩手県から高橋利彰さんが駆けつけてくれました。

幹事役の瀬林さんの挨拶のあと、高橋利彰さんの乾杯の音頭により開宴となった。

参加者が少なかったが、酒にはめっぽう強い7人衆であったため、オーダーが間に合わない状況が続き、開宴十分足らずで、早くも盛り上がりを見せた。

来年は、温泉地での声があがり、皆さん幹事の頑張りに期待していますとのこと。如何なることか？



[レポート 瀬林義昭さん]

## 立石孝男さんが、栄えある電友会本部のボランティア活動賞を受賞

平成24年11月15日(木)銀座ラフィナートにおいて、第22回電友会ボランティア活動表彰式が行われ、ドコモ同友会会員として、立石孝男さんが「園芸療法を活用した高齢化社会の健康年齢アップ等の社会福祉活動の功績」で栄えある賞を受賞されました。

### 「受賞の理由」

個人および団体の一員として、介護付きグループホームでの園

芸療法の手法を活用した園芸活動や、地域ケアプラザでの園芸支援などを通して、高齢化社会の健康年齢アップや自立支援、リハビリ活動に貢献されています。

また、NPO法人都築里山倶楽部の会員としては、生物生態系の環境維持保全作業などのボランティアにおいて、地方自治体等から数々の表彰を受賞されています。

[ドコモ同友会会報第7号より抜粋]

次号は、4月を予定。皆様からの投稿をお待ちします。



立石さん(左)小暮事務局長(右)